

# 座・ガモールファーム 通信

Vol. 33 | 2025.09.01



活動の詳細は裏面にて

埼玉校舎の畑ではレイズドベッドの木枠を仕切りとして使っている。写真の野菜は枝豆。

## 猛暑を乗り越えガモールファームも秋への準備。

### 秋晴の候

9月になりましたがまだまだ暑さを感じるところです。特に今年は猛暑の日が多く、夏野菜もあまりの暑さにやられ気味でした。そんな中大学テラスで育ちが良かったのがひょうたんです。以前試してみたところ育ちが良かったので今年も栽培してみたのですが、大きなひょうたんがたくさんつきました。今年の種子地藏縁日ではワークショップとして活用するそうなので楽しみです。

先日8月28日には、上池袋のサードプレイス「HIRAKU IKEBUKURO」主催による地域の子もたち向けのお祭りに出店しました。ここでは、盆踊りで好評を博した野菜スタンプを使ったうちの絵付けワークショップを開催し、今回も大変好評をいただきました。子どもから大人まで笑顔で取り組む姿が見られ、地域に温かなつながりが生まれていたのが印象的です。大学と地域をつなぐイベントとして、幅広い人々が気軽に参加できるワークショップは大きな意義を持っていると感じます。(山本)



テラスで育つひょうたん

※本ニュースレターは、JST「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点活動の一環として発行しています。座・ガモールファーム通信のバックナンバーを含むプロジェクトの概要は右のQRコードからご覧ください。



# 今月の活動

## キャンパス農園班

暦の上ではもう秋になってはいますが気温の方はまだまだ下がりませんね。皆様いかがお過ごしでしょうか。地域創生学部地域創生学科2年の野沢奏です。

今月は先月お伝えしたように巣鴨芋人プロジェクトの取り組みを中心に活動してきました。昨年度から参加して下さっている事業者さんを中心に今年度は合計で20個のプランターをお渡しすることができました。今年度は昨年度よりも事業者さんに寄り添った形で何か企画やイベントなどを発展的に行えたらと考えている次第でございます。

また、8月上旬にはテラスで収穫したナスをガモール堂の方で使っていただきました。ガモール堂とは地域創生学部地域創生学科の地域課題解決実践論という授業を履修する学生がプロデュースしている、期間限定でオープンするカフェです。テラスで収穫された、ナスは「トマトとホタテのトマトクリームパスタ」のトッピングとして使っていただきました(本商品は現在ガモール堂でお取り扱いしておりません)。私も実際に頂いてみたのですが魚介類の香りと夏野菜がマッチしていて非常に絶品でした。

さて、11月8日(土)には種子地蔵縁日があります。私たちはサツマイモ収穫体験付きのキャンパス農園ツアーと、ひょうたんの絵付けワークショップを行う予定です。皆様のご来場心よりお待ちしております。

最後になりますが、まだまだ暑い日々が続きます。どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。

それではまた次号でお会いしましょう。



昨年度から参加して下さっている妙法湯様へ巣鴨芋人の贈呈

## 座・ガモールファーム



テラスで収穫したみょうが

9月になり夏野菜の収穫も一段落してきました。ただ、遅まきのきゅうりなどはこれから収穫ですので、まだまだテラスでの収穫は楽しめそうです。また、ひょうたんも順調に育っています。

7月末からの南門広場の工事の関係で、広場にあったレイズドベッドは現在さざえ堂前に移動しています。こちらではズッキーニやオクラなどを栽培していますが、今が収穫の最盛期となっています。オクラは丸オクラという品種で大きくなって硬くなりづらいという特徴があります。

埼玉校舎では6月に蒔いたニンジンが収穫期を迎えているほか、枝豆やポップコーンも夏の暑さに負けず順調に育っています。

9月中旬になるとカブや大根の播種が始まります。こちらに関しては毎年日本農林社様のブランドである江戸野菜コレクションの品種を蒔いていますが、これらは伝統野菜と呼ばれるその地域で古くから栽培されてきた野菜です。「練馬大根」や「金町小かぶ」など栽培されていた地域の名前が入っているのも特徴です。ガモールファームでは地域の伝統野菜を栽培することで農的空間だけでなく、伝統文化の振興も目指しています。(山本)

## 詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

